

ダイセキ(9793) 20/2 期決算説明会メモ コロナ終息 5 月見通しならポジティブ

20/2 期 19.3% 営業増と 3 期連続営業利益最高益、21/2 期コロナ影響で減額もその後成長続く

株価 2000 円 (4/7) 時価総額 860 億円 (4/7) 発行済株 43,000 千株 (4/7)

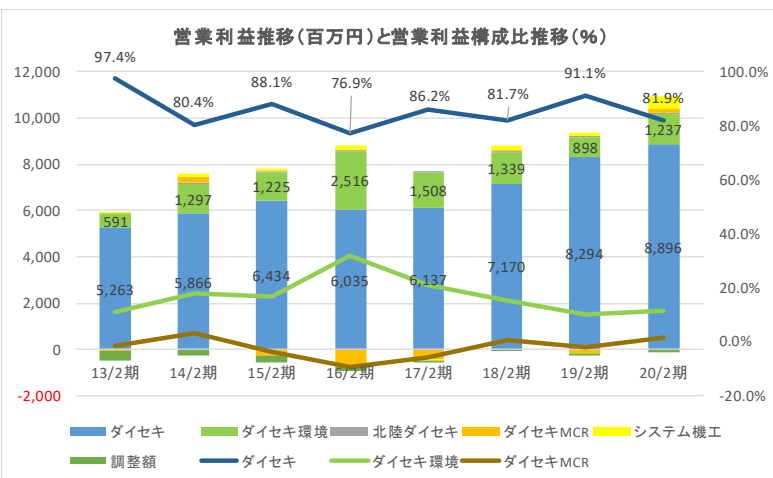
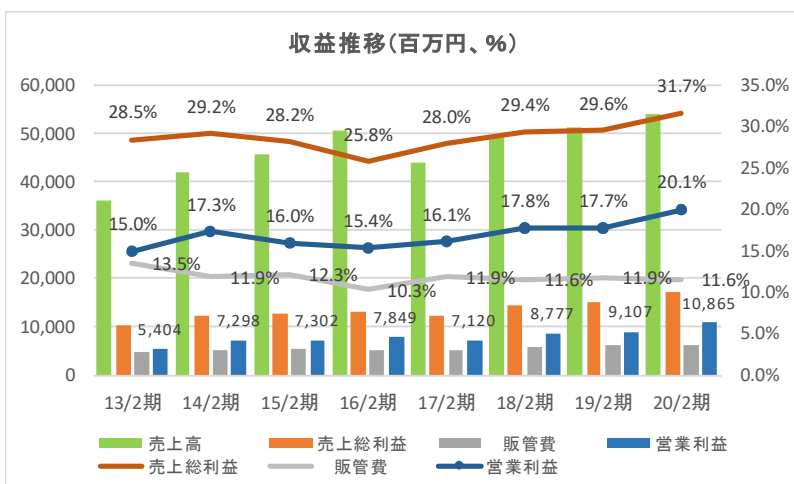
PER (21/2 期 DO 予 12.7X) PBR (1.2X) 配当 (21/2 期 DO 予) 56 円 配当利回り : 2.8%

要約

- 20/2 期は 25.4% 増収 19.3% 営業増益と 3 期連続営業利益最高益更新
- ダイセキ単体業績も 4.4% 増収、7.2% 営業増益と計画通りの着地
- 21/2 期コロナ早期終息前提に 4.4% 増収 3.0% 営業増益予想も長引けば 23/2 期まで減益へ
- 22/2 期再度最高益予想も 23/2 期売上高 630 億円、営業利益 130 億円目標達成には努力が必要
- 株価は緊急事態宣言でコロナ影響早期に収まればポジティブ

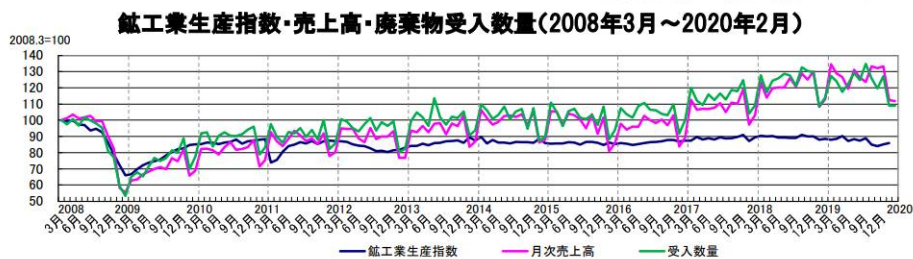
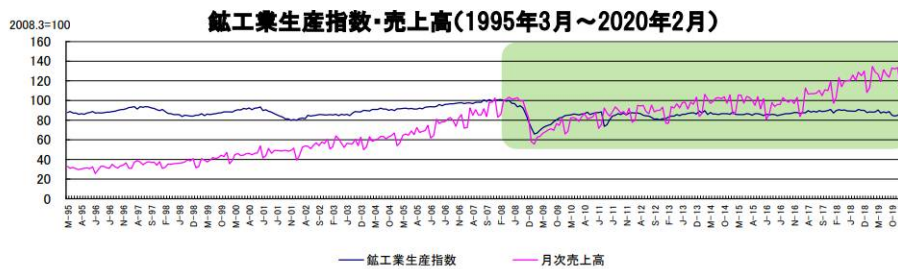
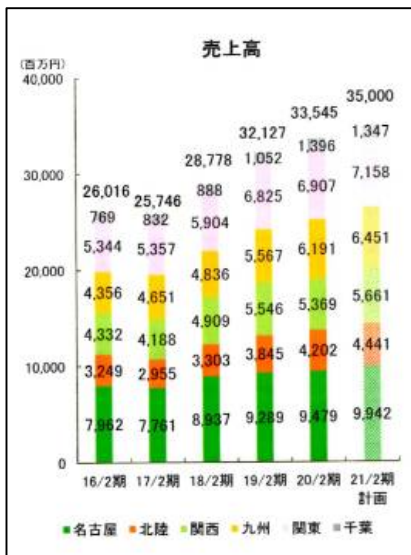
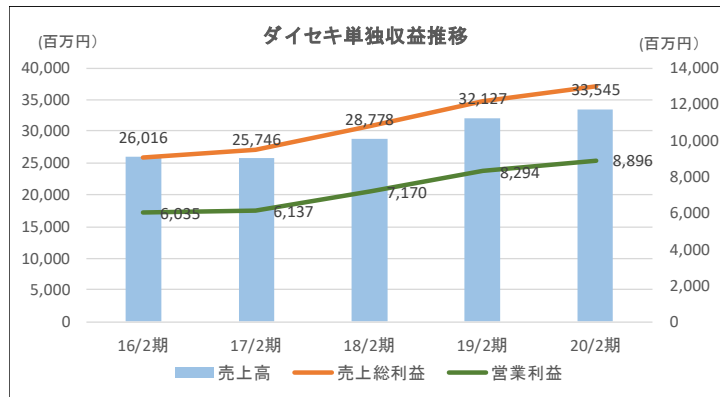
20/2 期は 25.4% 増収 19.3% 営業増益と 3 期連続営業利益最高益更新

4/6 に 20/2 期決算説明会がコロナ感染防止対策を施して実施された。20/2 期業績は、売上高 540.88 億円 (5.4% 増)、営業利益 108.65 億円 (19.3% 増)、経常利益 110.25 億円 (19.8% 増)、税引利益 70.44 億円 (15.2% 増) と、3 期連続営業利益最高益更新となり、初めて 100 億円を突破した。1/6 に増額修正した会社計画比ほぼ計画通りで着地した。内容で見るとダイセキ本体が全体の営業利益の 81.9%、88.96 億円を占めるものの、ダイセキ環境ソリューションが 11.3%、12.37 億円、ダイセキ MCR が黒字転換、システム機工が大幅増益など、グループとして収益を確保した。

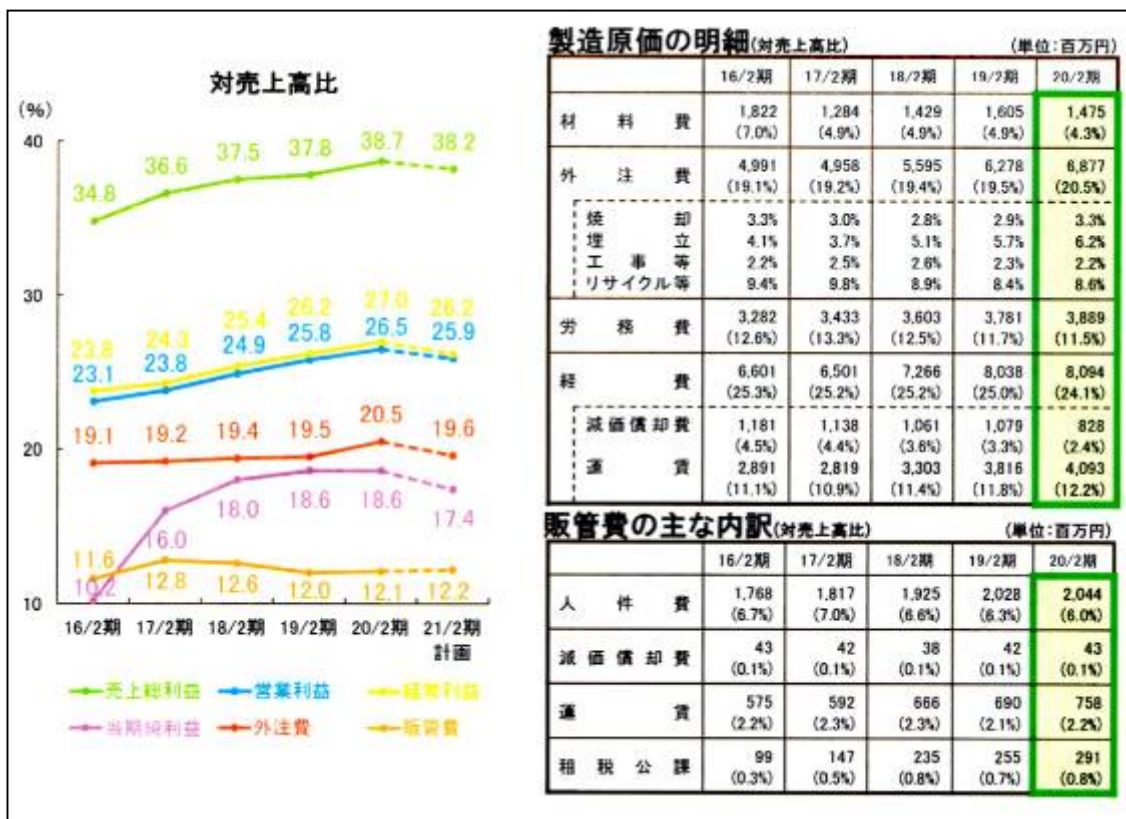


ダイセキ単体業績も 4.4%増収、7.2%営業増益と計画通りの着地

ダイセキ単体の 20/2 期収益は、売上高 335.45 億円 (4.4%増)、営業利益 88.96 億円 (7.2%増)、経常利益 90.63 億円 (7.3%増)、税引利益 62.48 億円 (18.6%増) と、計画通りで着地した。売上面では国内鉱工業生産が下期停滞状況で、主力事業の工場廃液を中心とした産業廃棄物処理事業のシェアアップ、アクティブユーザー取引口座数も 1.3%増の 6537 件、能力一杯の関西事業所を除き増収を確保した。



利益面では総利益率が運賃アップで0.4ポイントアップも、労務費が0.8ポイント軽減されるなどで0.9ポイント改善し38.7%に。販管費は増収効果ながら販管費比率が0.1ポイント悪化し12.1%となり、結果、営業利益率が0.7ポイント向上し26.5%となった。



21/2期コロナ早期終息前提に4.4%増収3.0%営業増益予想も長引けば23/2期まで減益へ

21/2期会社計画は売上高565億円(4.4%増)、営業利益112億円(3.0%増)、経常利益113億円(2.4%増)、税引利益72.5億円(2.9%増)予想と、4期連続最高益更新を見込む。ダイセキ本体は能力増強が来期以降で4.3%増収、2.1%営業増益にとどまる予想も、ダイセキ環境ソリューションが稼働率アップで10.7%営利増、北陸ダイセキも微増益、システム機工はタンク洗浄ビジネス増で8.0%営利増、一方、ダイセキMCRは鉛使用悪化で9.8%営利減を見込む。

全体を通じ、コロナウイルス感染の直接の影響は受けにくいものの、ダイセキ本体は鉱工業生産指数の下振れ懸念もあり、今後のコロナウイルス感染の終息がいつになるかがポイントとなる。現状、Q1については影響が軽微で、Q2にこの影響が多少でると見ている。なお21/2会社想定は4月から徐々に感染拡大の抑え込みが成功する前提となっているが、緊急事態宣言による7都市の対象効力が1ヶ月という事を考えると、鉱工業生産の回復遅れでQ2の想定はかなりショートしそうな状況にある。

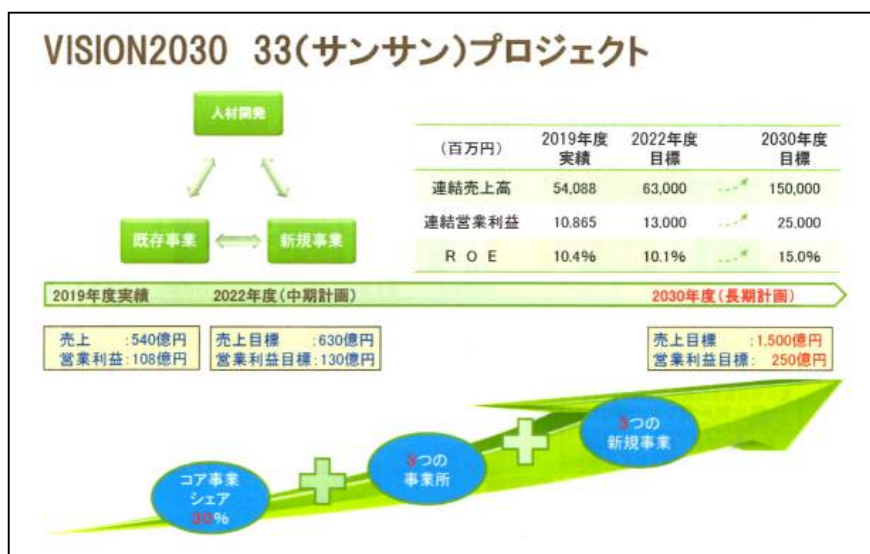
なお、会社側では感染拡大の抑え込みに失敗し、世界経済がリーマンショック並みの影響

を受けた場合を想定、リーマンショック当時は09/2Q3~10/2Q3まで5四半期連続で減益となり、09/2期が8.5%営業減益、10/2期は35.4%営業減益となったと示した。今回は連結対象の違いや事業分野のMIX変化などもあり、当時ほどの影響は無いとしているが、少なくとも上期の会社予想は減額が懸念され、下期にコロナ影響が薄れたとしても挽回は難しく、会社計画達成は厳しいとみられる。

22/2期再度最高益予想も23/2期売上高630億円、営利130億円目標達成はリニア鍵握る

同社は中期計画として23/2期に売上高630億円、営業利益130億円、経常利益131億円、税引利益83億円を掲げた。ダイセキ本体は22/2期まではダイセキ関西新工場の寄与が見込めず(23/2期には関西地区での売上が100億円超を期待、その他2地域で新工場土地の物色を計画)、22/2期は待ちの1年で、最高益更新見通しも緩やかで、23/2期以降に能力増強から大きく収益が伸びるとしている。なお、ダイセキ環境ソリューションの岐阜リサイクル新工場がリニア新幹線トンネル工事の進捗で収益寄与してくると見ているが、静岡県知事の「リニア妨害」ともいえる交渉停滞などから岐阜新工場が23/2期でも赤字継続懸念もある。今回のコロナ感染騒動での影響が22/2期に挽回でき、再度最高益更新をクリア

しても、23/2期中計達成にはかなり努力が必要とみられる。しかし今回の突発的な要因で一時的に収益が停滞しても、長期的にはグループ力を強め、事業所の能力増強、更に新規事業の拡大実行で、31/2期に売上高1500億円、



営業利益250億円の長期目標に向けて成長を続けていくこととなる。

株価は緊急事態宣言でコロナ影響早期に収まればポジティブ

株価は1/6の20/2Q3発表時の増額修正を受け1/7に年初来高値3235円を付けたが、その後下落を続け、4/3決算発表で21/2期4期連続最高益更新予想ながらリーマンショック時の影響を比較開示し、コロナ影響が長引いた場合連続減益もとの警戒感から4/6に年初来安値1796円を付けた。現状、直接的影響は軽微ながら今期は会社計画未達懸念があるが、コロナ終息が5月に目処がつけば再度最高益更新が続く銘柄として年初来高値まで戻るイメージでポジティブに考えたい。

ダイセキ(9792)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
19/2期	51,313	4.2%	9,107	3.8%	9,199	3.2%	6,110	4.7%	142.9	46.00	
20/2Q1	13,557	9.3%	2,767	18.1%	2,812	19.4%	1,811	14.4%	42.4	0.00	
20/2Q2	13,335	-3.7%	2,704	14.5%	2,742	14.9%	1,753	17.8%	41.0	20.00	
20/2Q3	14,281	12.9%	3,134	32.6%	3,172	31.3%	2,027	25.3%	47.4	0.00	
20/2Q4	12,910	-4.0%	2,260	10.8%	2,299	12.7%	1,452	2.5%	23.6	26.00	
20/2H1 期初会予	26,900	2.4%	5,060	7.5%	5,140	8.3%	3,330	8.2%	77.9	23.00	
20/2H1	26,892	2.4%	5,471	16.3%	5,554	17.1%	3,564	15.9%	83.4	23.00	
20/2H2 期初会予	26,600	6.1%	5,040	14.5%	5,060	13.6%	3,370	11.0%	86.8	23.00	
20/2H2 修正会予(1/6)	27,108	8.2%	5,329	21.0%	5,346	20.0%	3,468	14.8%	81.5	33.00	
20/2H2	27,191	8.5%	5,394	22.5%	5,471	22.8%	3,480	14.6%	71.0	33.00	
20/2期 期初会予	53,500	4.2%	10,100	10.9%	10,200	10.8%	6,700	9.6%	156.7	46.00	
20/2期 修正会予(1/6)	54,000	5.2%	10,800	18.5%	10,900	18.4%	7,050	15.3%	164.8	56.00	
20/2期	54,088	5.4%	10,865	19.3%	11,025	19.8%	7,044	15.3%	164.7	56.00	
21/2Q1 会予	14,330	5.7%	2,900	4.8%	2,930	4.2%	1,880	3.8%	44.0	0.00	
21/2Q2 会予	13,660	2.4%	2,630	-2.7%	2,670	-2.6%	1,520	-13.3%	35.5	28.00	
21/2Q3 会予	15,220	6.8%	3,240	3.4%	3,240	2.1%	2,180	7.5%	51.0	0.00	
21/2Q4 会予	13,290	2.9%	2,430	7.5%	2,460	7.0%	1,670	14.9%	39.0	28.00	
21/2H1 会予	27,990	4.1%	5,530	1.1%	5,600	0.8%	3,400	-4.6%	79.5	28.00	
21/2H2 会予	28,510	4.9%	5,670	5.1%	5,700	4.2%	3,850	10.6%	90.0	28.00	
21/2期 会予	56,500	4.5%	11,200	3.1%	11,300	2.5%	7,250	2.9%	169.5	56.00	
22/2期 会予	59,000	9.1%	12,000	10.4%	12,100	9.8%	7,800	10.7%	182.3	73.00	
23/2期 会予	63,000	6.8%	13,000	8.3%	13,100	8.3%	8,300	6.4%	194.0	78.00	
21/2期 DO 予	54,000	-0.2%	10,000	-8.0%	10,100	-8.4%	6,750	-4.2%	157.8	56.00	
22/2期 DO 予	58,500	8.3%	11,800	18.0%	11,900	17.8%	7,700	14.1%	180.0	64.00	
23/2期 DO 予	62,000	6.0%	12,700	7.6%	12,800	7.6%	8,100	5.2%	216.0	76.00	

セグメント売上情報年度	18/2期	19/2期	20/2期	21/2期会予	22/2期会予	23/2期会予	21/2期 DO 予
ダイセキ	28,778	32,127	33,545	35,000			33,000
ダイセキ環境	14,926	14,193	14,048	15,000			14,650
北陸ダイセキ	785	848	817	820			820
ダイセキMCR	2,846	2,848	2,987	2,850			2,700
システム機工	2,627	2,229	3,723	3,820			3,820
調整前	49,962	52,245	55,120	57,490			54,990
消去	-778	-933	-1,035	-990			-990
合計	49,185	51,313	54,083	56,500	59,000	63,000	54,000
セグメント営業利益	18/2期	19/2期	20/2期会予	21/2期会予	22/2期会予	23/2期会予	21/2期 DO 予
ダイセキ	7,170	8,294	8,896	9,090			8,150
ダイセキ環境	1,339	898	1,237	1,371			1,180
北陸ダイセキ	48	68	73	80			80
ダイセキMCR	64	-205	188	170			100
システム機工	218	114	531	574			575
合計	8,839	9,169	10,925	11,285			10,085
調整額	-64	-62	-142	-85			-85
営業利益	8,777	9,107	10,865	11,200	12,000	13,000	10,000

